

II 岡山県のがん統計

1 集計対象

岡山県に住所を有する者（外国人を含む）で、2016（平成28）年1月1日から12月31日までの間に、がんと診断された者

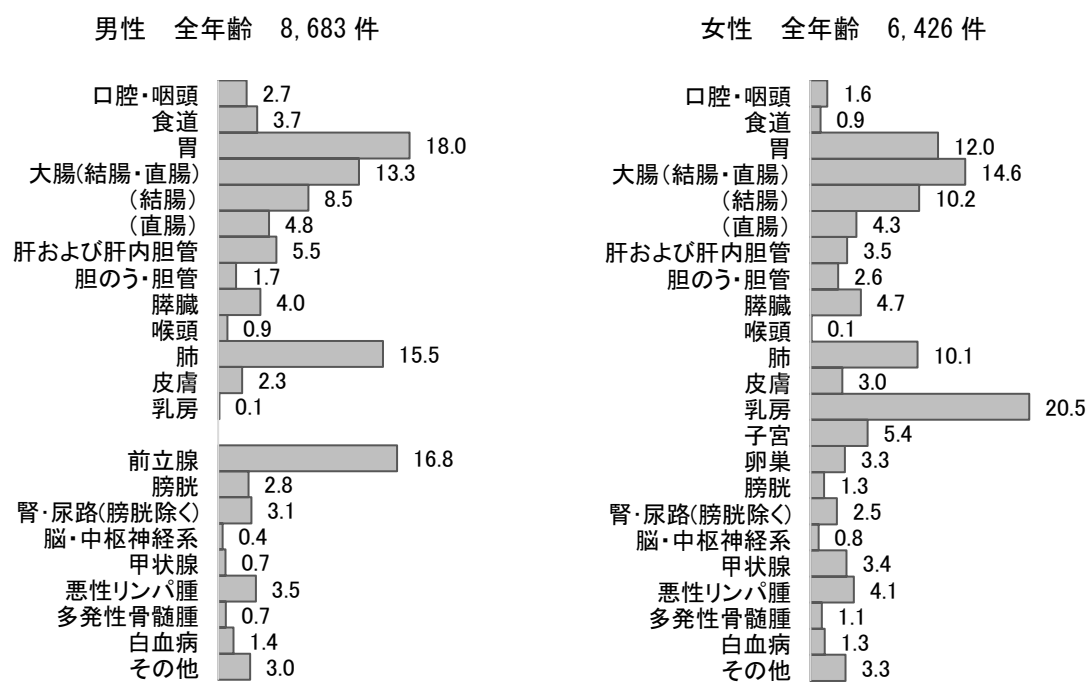
2 罹患の状況

（1）罹患の概要

岡山県内に居住する者について、新たに診断されたがん（上皮内がんを除く）は、男性8,683件、女性6,426件、合計15,109件であった。

部位別では、男性は胃（1,563件、18.0%（全部位に占める割合、以下同じ））が最も多く、次いで前立腺（1,460件、16.8%）、肺（1,345件、15.5%）の順となっている。また、女性は乳房（1,320件、20.5%）が最も多く、次いで大腸（935件、14.6%）、胃（770件、12.0%）の順となっている。【図4】

図4 部位内訳（%）（表1-Aから作成）



注) 上皮内がんを除く

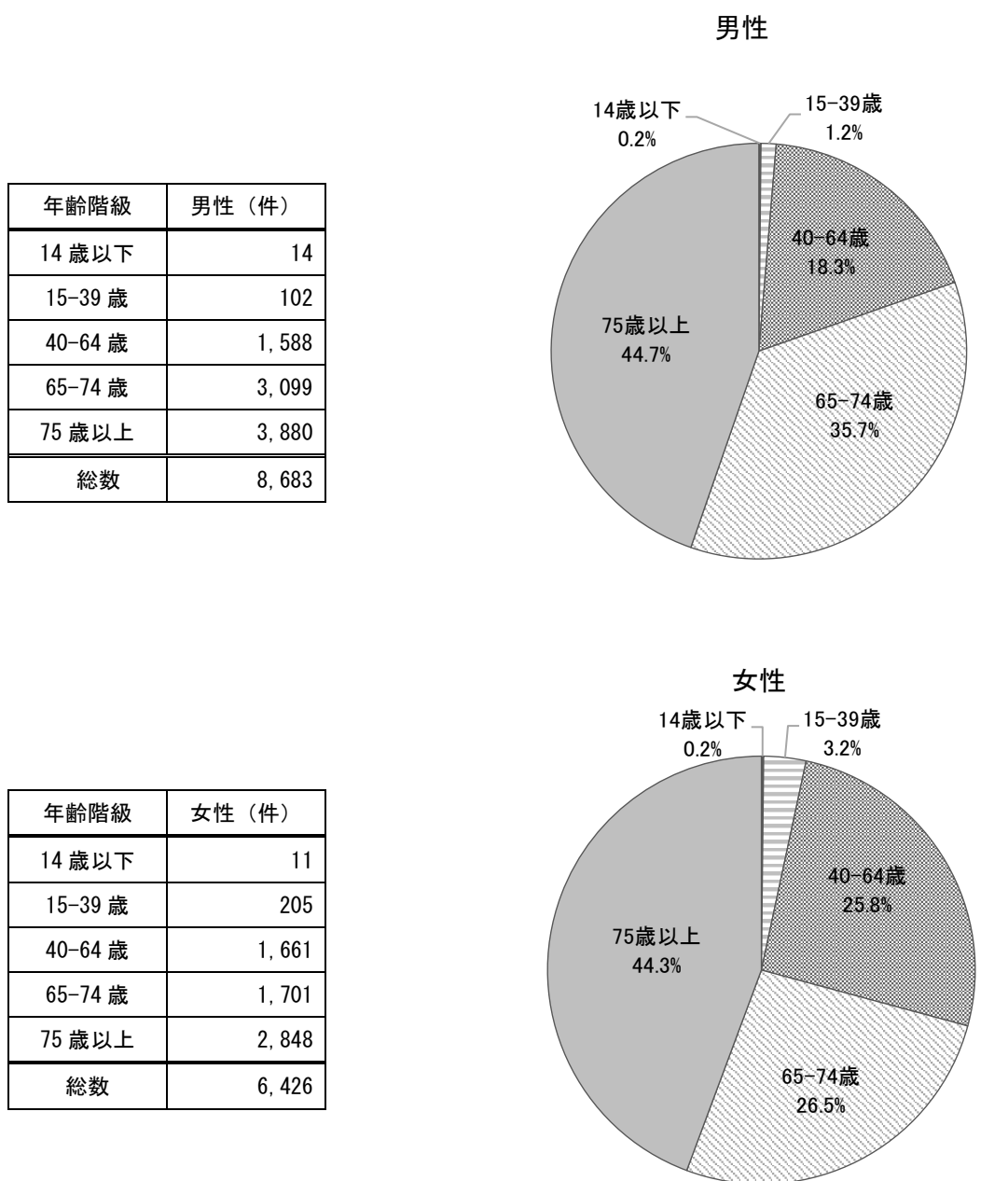
(2) 年齢別に見たがんの罹患

新たに診断されたがん(上皮内がんを除く)について年齢階級別内訳をみると、男性では全体の約 80.4%、女性では全体の約 70.8%が 65 歳以上である。

また、総数で見ると男性の方が多いが、15～39 歳及び 40～64 歳は女性の方が多

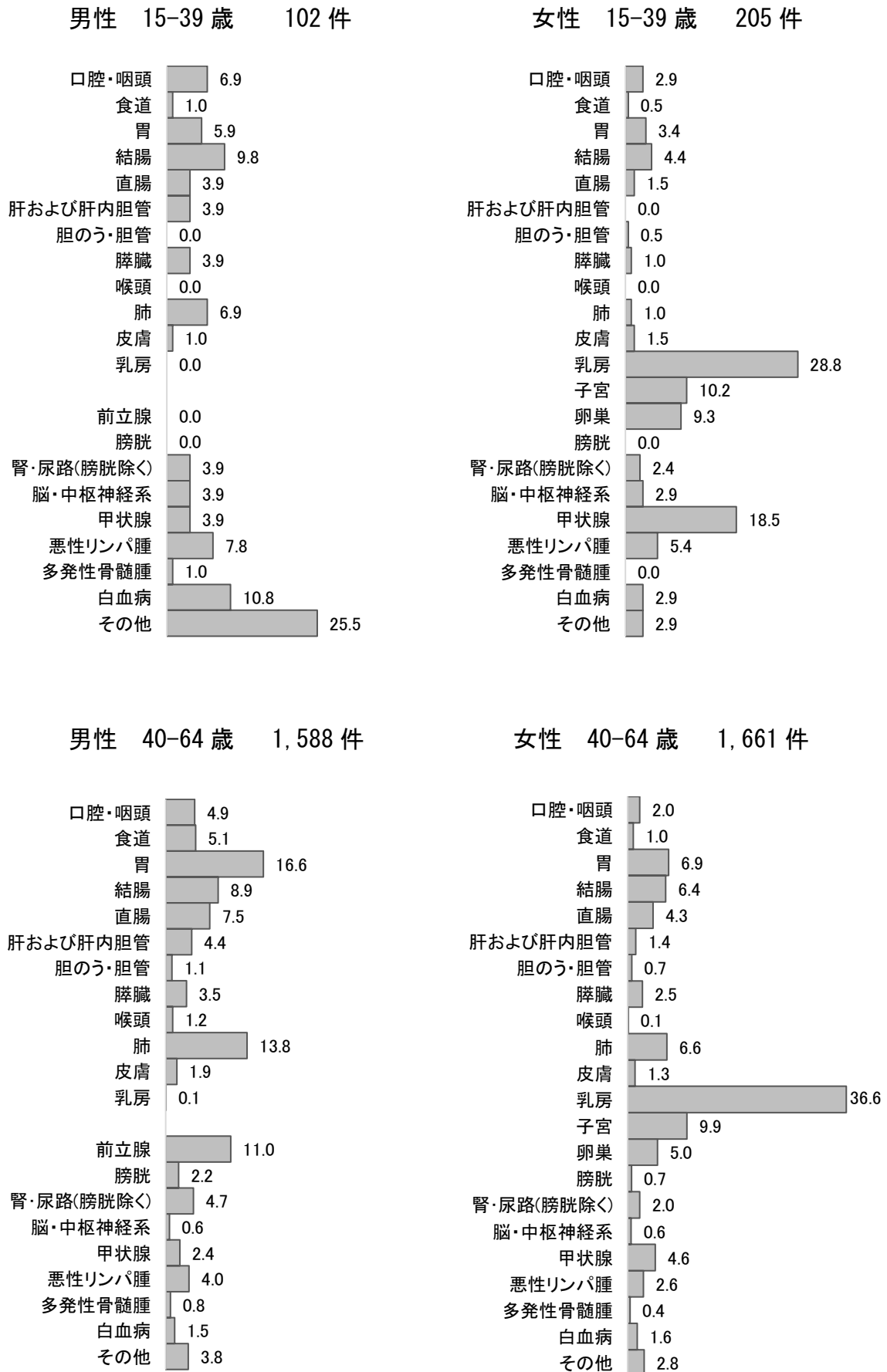
い。
これは、この年齢層で女性の乳房及び子宮並びに甲状腺に発生するがんが多いためである。【図 5・6】

図 5 年齢階級別内訳 (%) (表 2-A から作成)

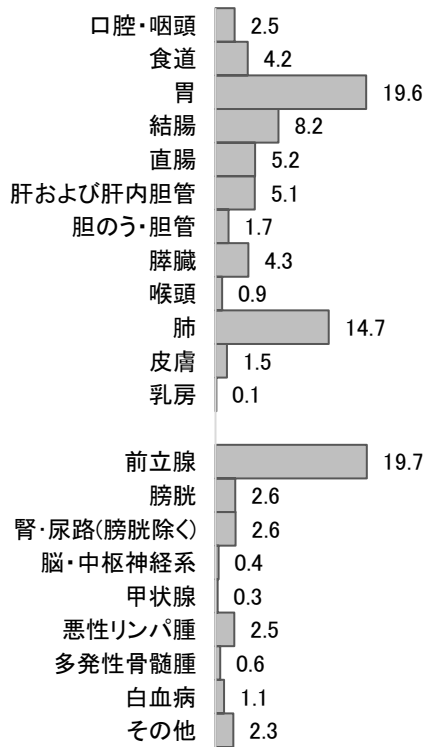


注) 上皮内がんを除く

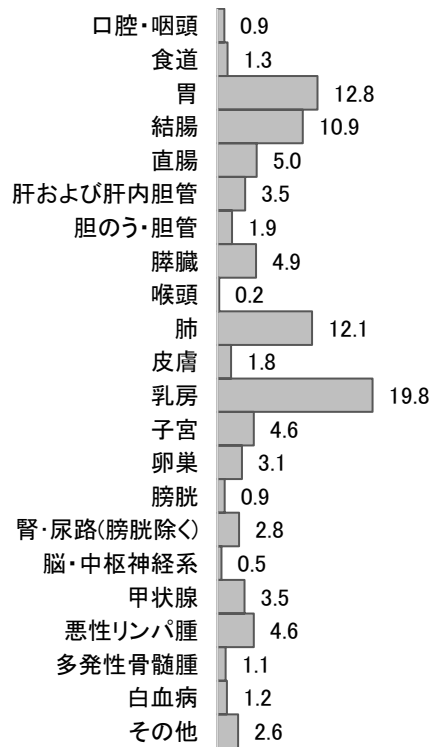
図6 年齢階級別部位内訳 (%) (表2-A から作成)



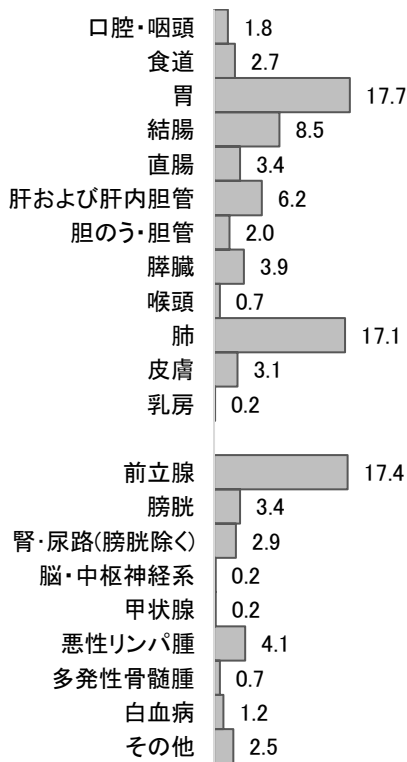
男性 65-74歳 3,099件



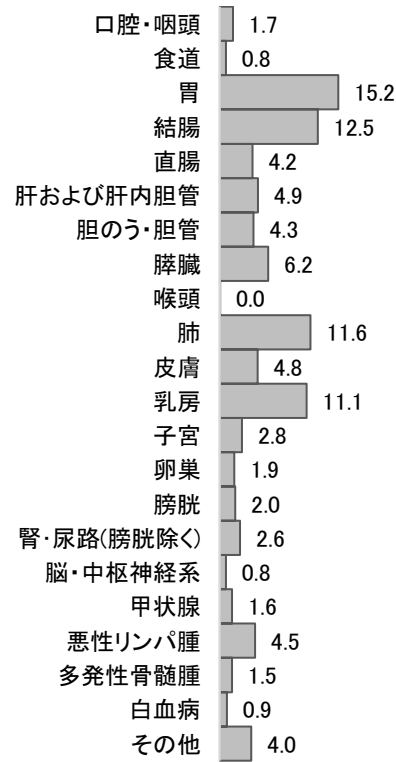
女性 65-74歳 1,701件



男性 75歳以上 3,880件



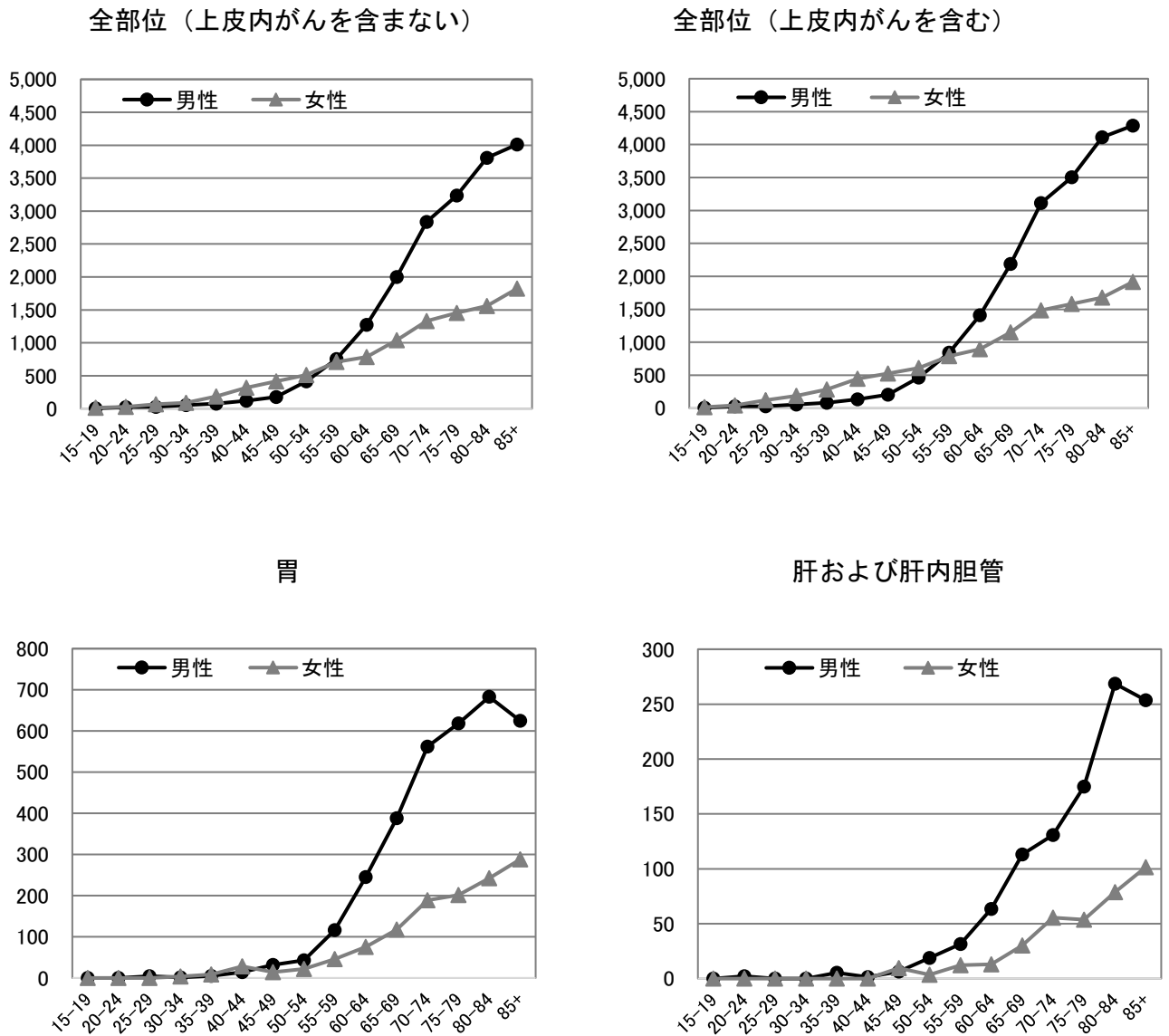
女性 75歳以上 2,848件



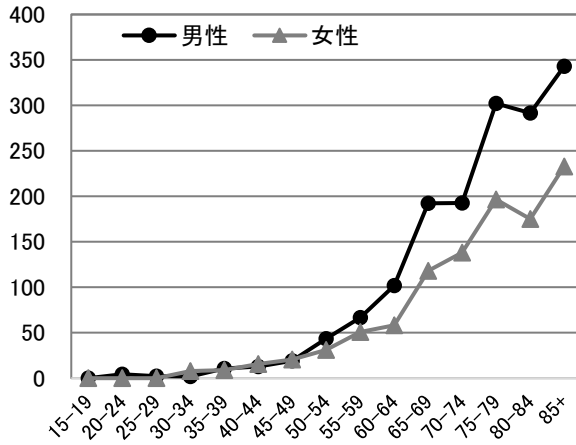
注) 上皮内がんを除く

部位別年齢階級別罹患率を見ると、ほとんどの部位において、年齢が高くなるほど罹患率が高くなっているが、女性の乳房及び子宮は、50代後半がピークである。また、子宮頸部の上皮内がんについては20代後半から40代までの罹患率が高くなっている。【図7】

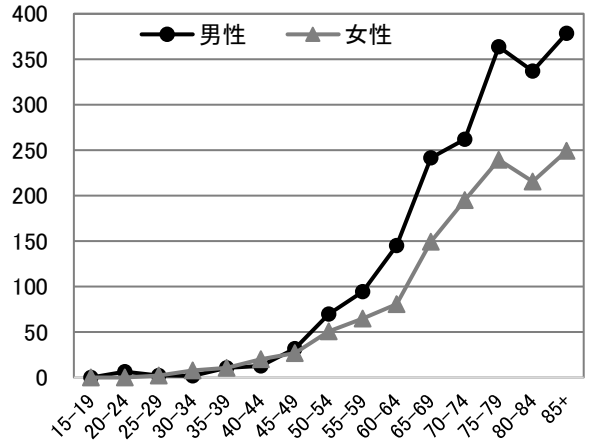
図7 部位別年齢階級別罹患率：人口10万対（表3-2.A,Bから作成）



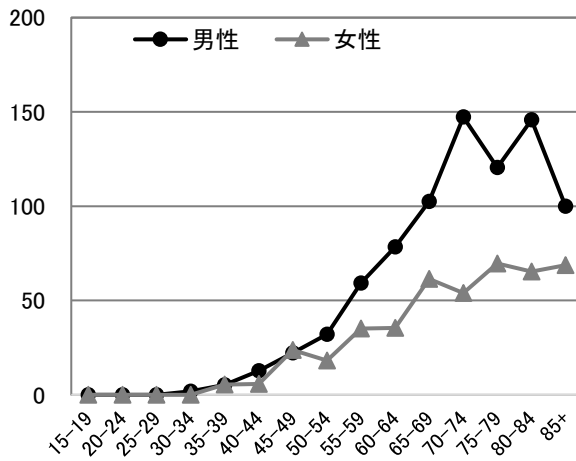
結腸 (mがんを含まない)



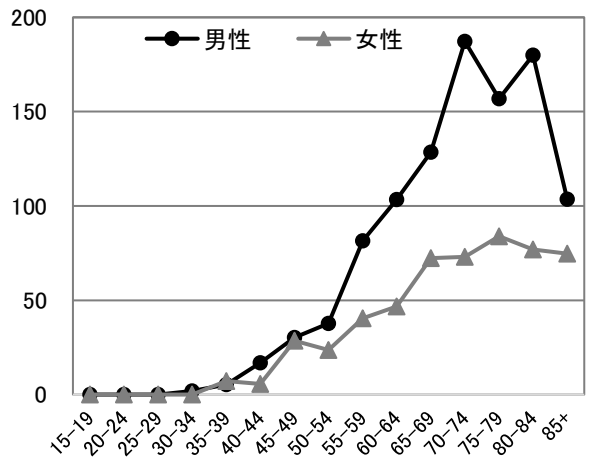
結腸 (mがんを含む)



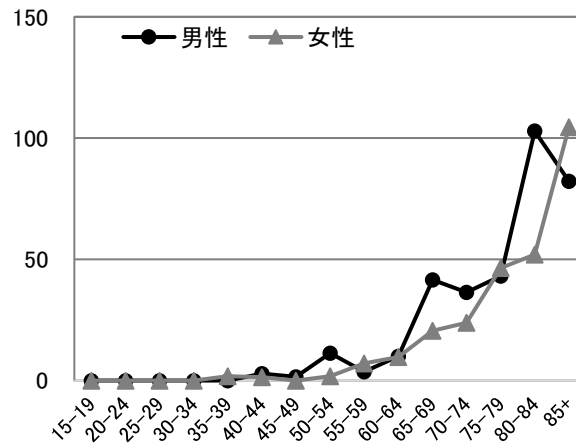
直腸 (mがんを含まない)



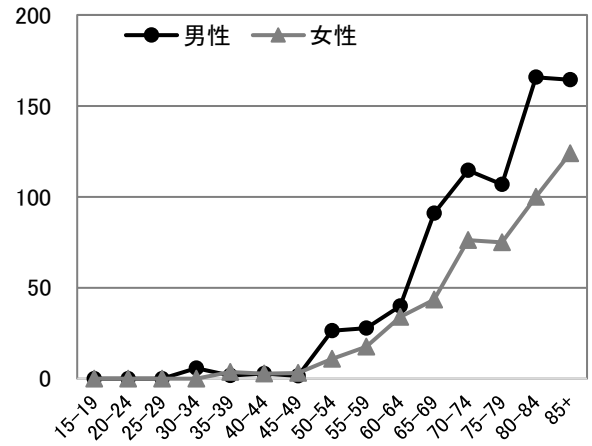
直腸 (mがんを含む)



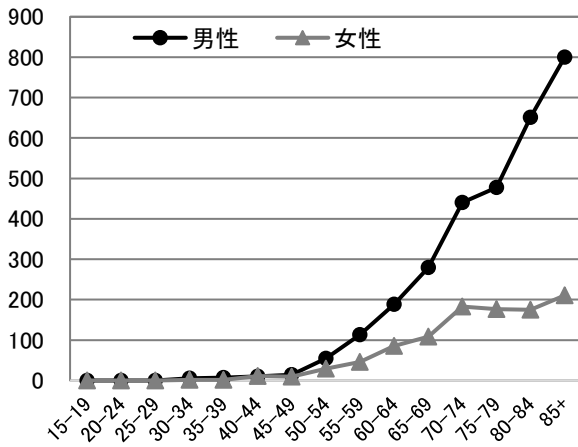
胆のう・胆管



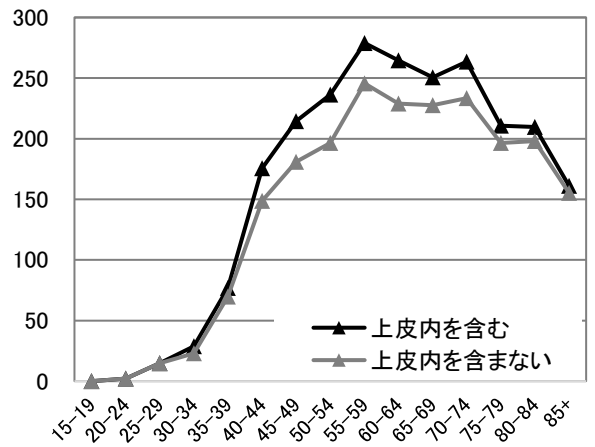
膵臓



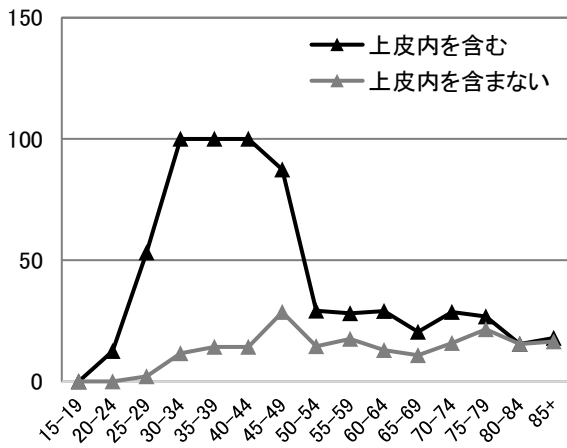
肺（上皮内がんを含まない）



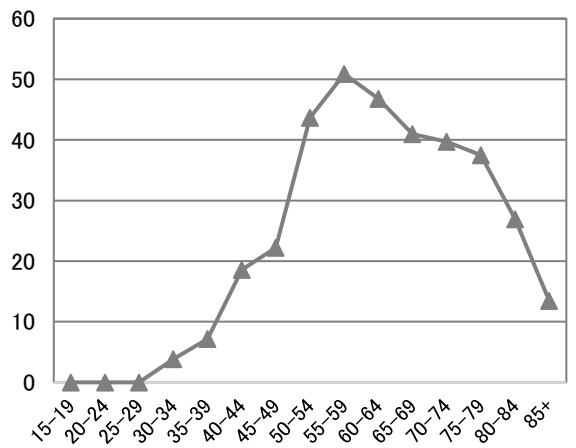
乳房（女性のみ）



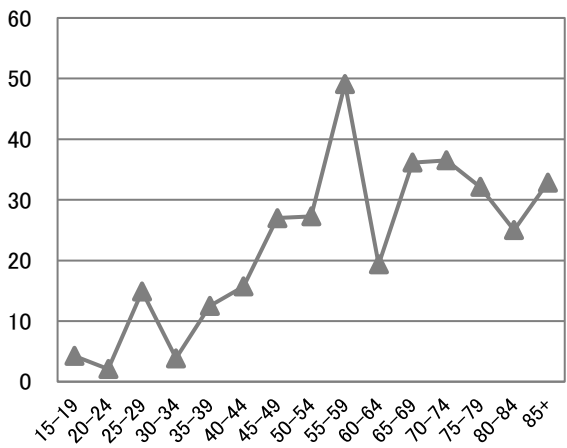
子宮頸部



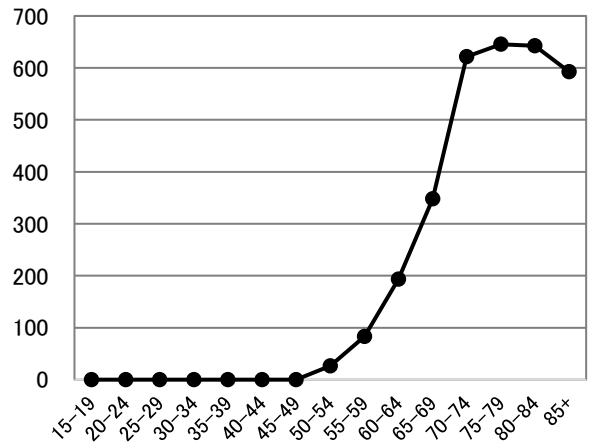
子宮体部



卵巣



前立腺

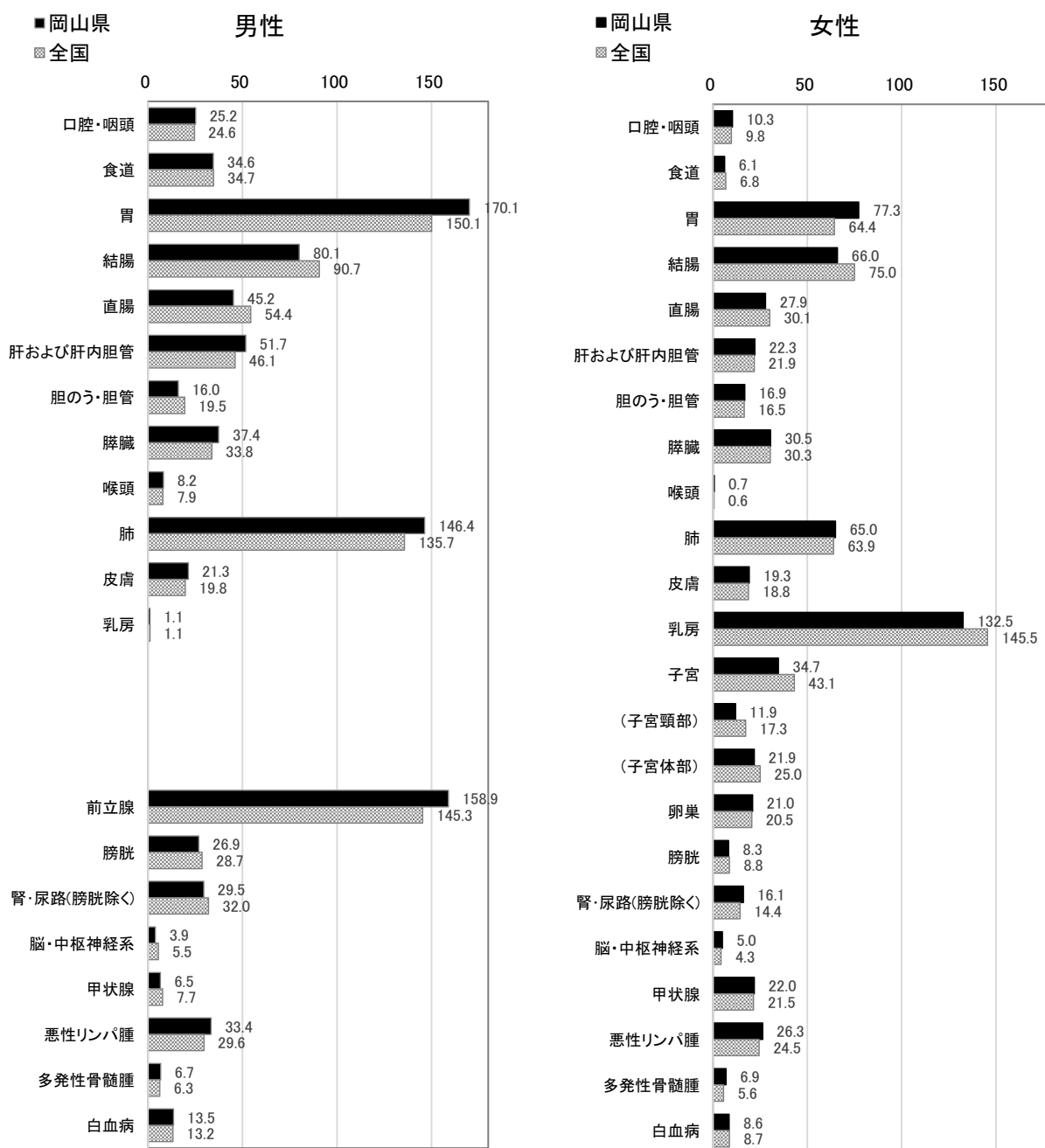


(3) 岡山県のがんの罹患の特徴

部位別の粗罹患率と年齢調整罹患率について、厚生労働省健康局がん・疾病対策課「全国がん登録 罹患数・率報告」において公表されている全国値との比較を示した。

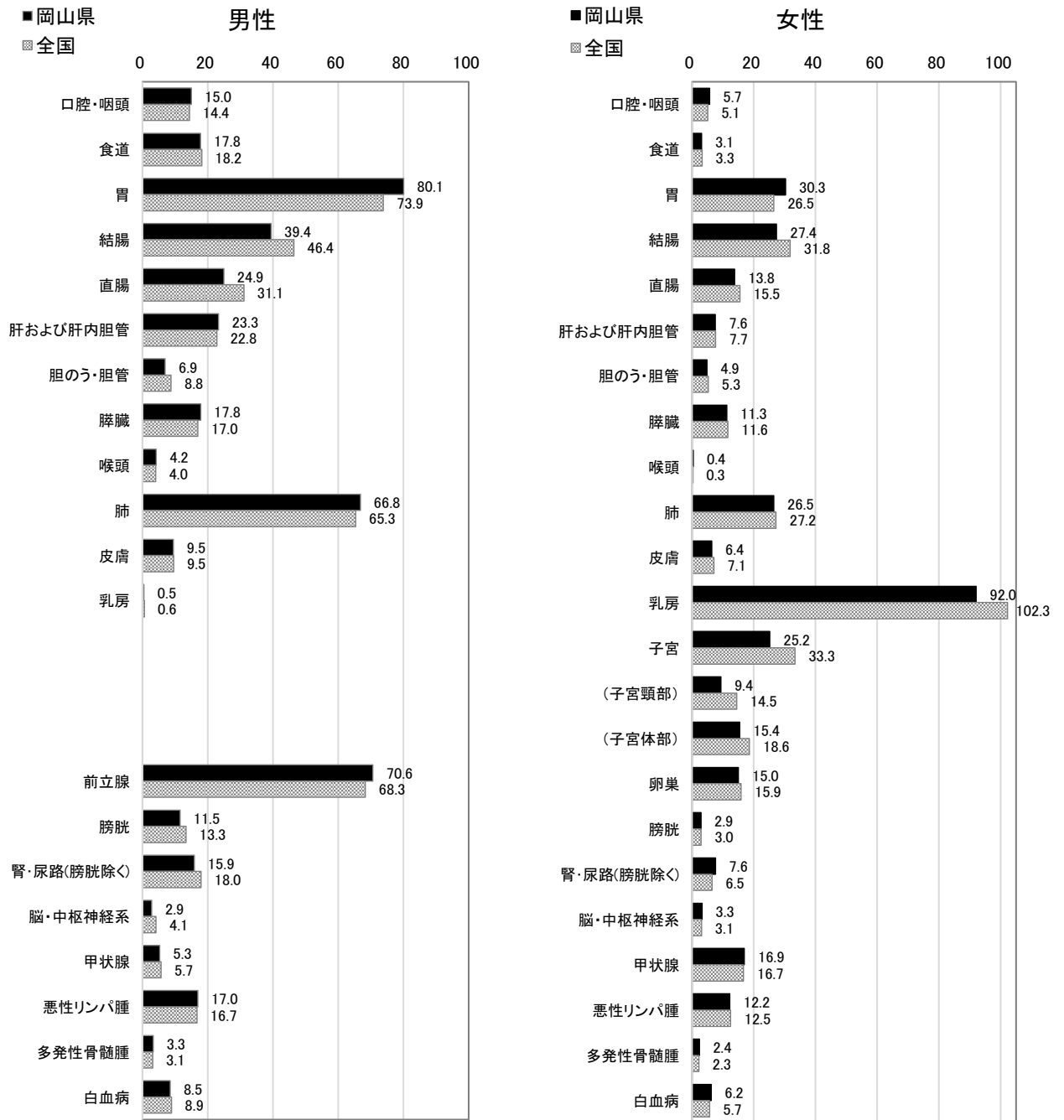
年齢調整罹患率で見ると、胃、男性の肺、前立腺などは岡山県の方が高く、大腸（結腸・直腸）や女性の乳房、子宮などは岡山県の方が低い。【図8・9】

図8 部位別粗罹患率：人口10万対（表1-Aから作成）



注) 上皮内がんを除く

図9 部位別年齢調整罹患率：人口10万対（表1-Aから作成）



注) 上皮内がんを除く

(4) 主要部位別罹患状況の年次推移

罹患数及び年齢調整罹患率の推移を、男女別に示した。【図10～13】

年齢調整罹患率で見ると、男性は前立腺がんの増加が顕著に現われ、逆に肝および肝内胆管が減少している。女性では、他のがんがほぼ横ばい状態の中、乳房の罹患率が際立って増加している。

図10 罹患数の年次推移：主要部位別、男性

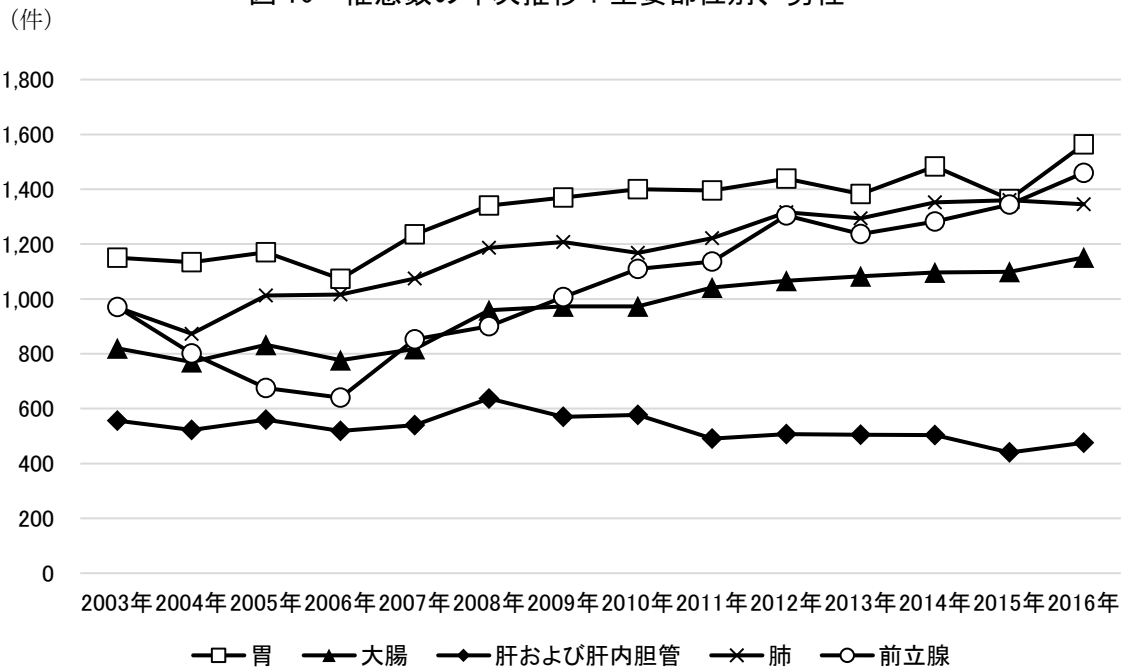


図11 年齢調整罹患率の年次推移：主要部位別、男性

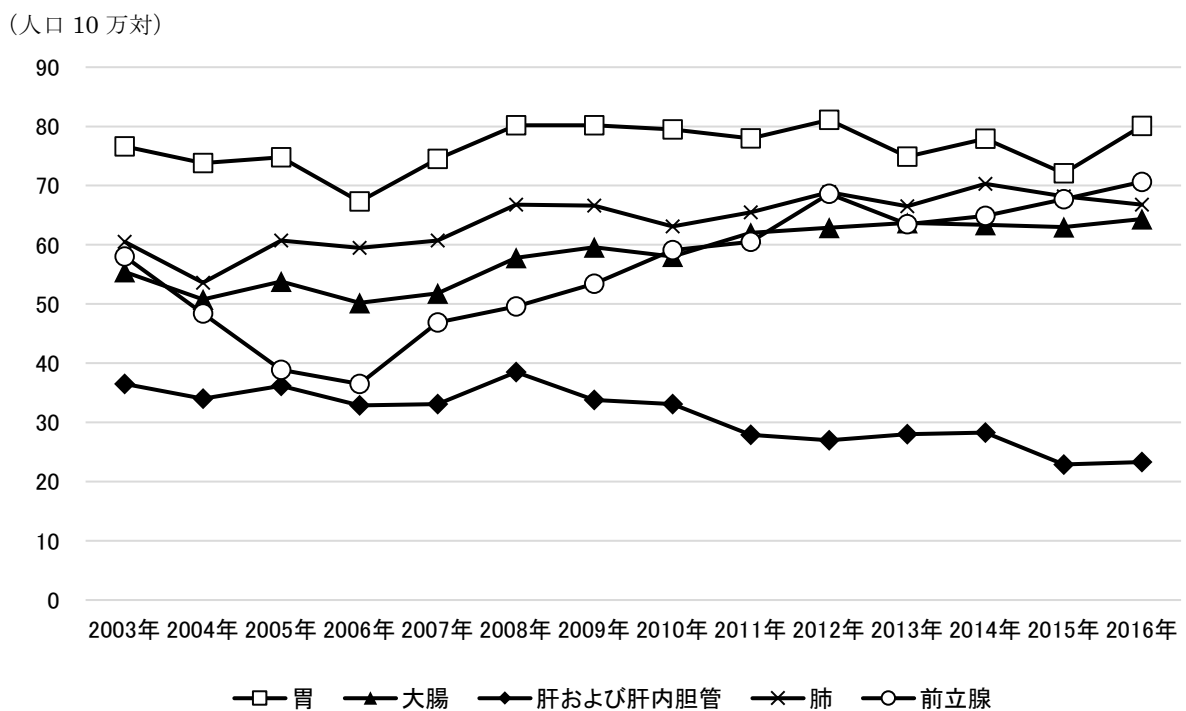


図 12 罹患数の年次推移：主要部位別、女性

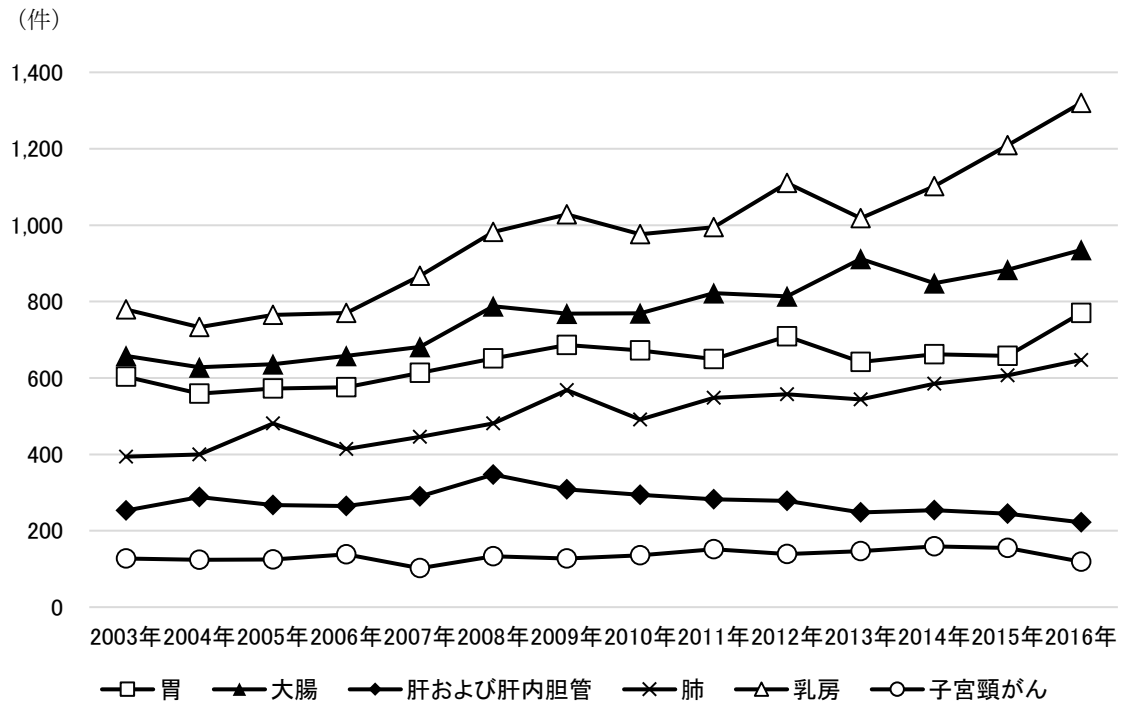
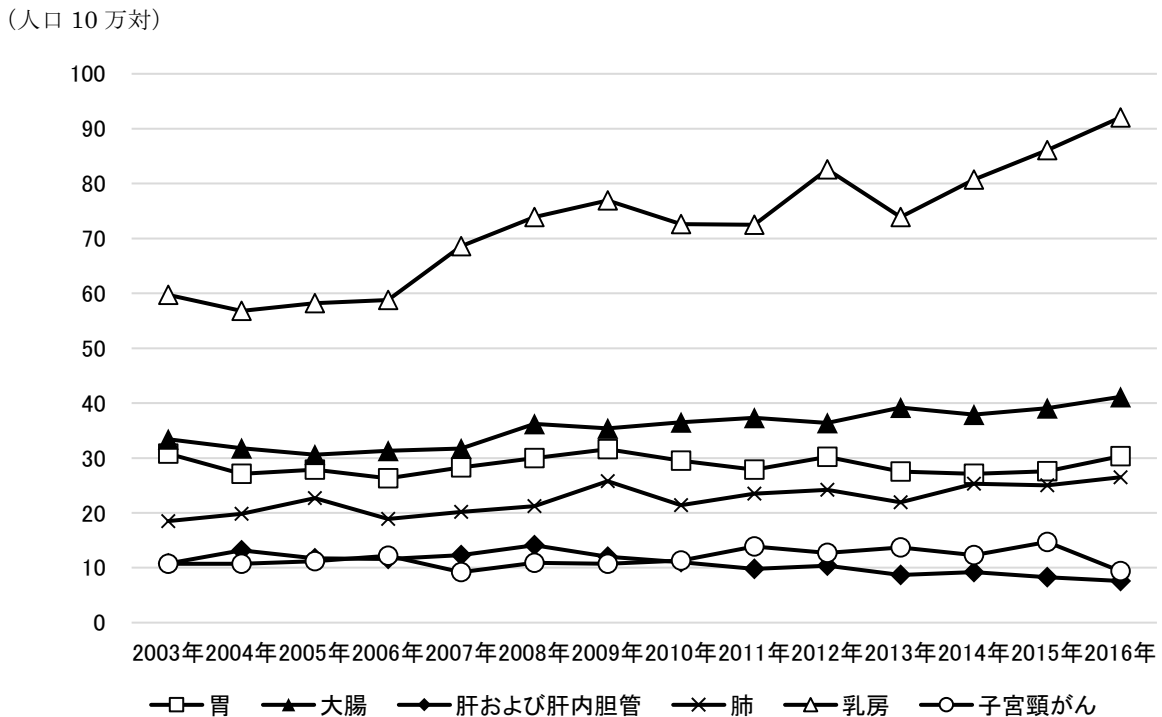


図 13 年齢調整罹患率の年次推移：主要部位別、女性



2003-2014年は、国立がん研究センター「全国がん罹患モニタリング集計 (MCIJ)」による岡山県集計。
 2003, 2004年は、乳房及び子宮のみ上皮内がんを含む。2005年以降は、すべての部位において上皮内がんを含まない。